特別の教育課程「人間と社会」の編成の方針

松阪市立飯南中学校

1. 「人間と社会」の内容

- ・松阪市立飯南中学校は、平成13年度より、中高一貫連携教育における連携高校である三重県立飯南高等学校総合学科の原則履修科目「産業社会と人間」に接続する教科として「人間と社会」を設定している。
- ・飯南中学校における各学年の時間数は、
 - 第1学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
 - 第2学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
 - 第3学年は、「総合的な学習の時間」を35時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。

2. 全体計画および目標

①目標

- ・進路と自己理解(主として自分自身に関わること)
 - ア 自己の性格・興味・関心・能力・適性などの特徴を知り、自己理解に努めさせる。
 - イ 個性と職業の関連を考えさせ、職業に対する関心を育てる。
 - ウ 自己の生き方、ライフコースについて考えさせる。
- ・進路と職業、生活(主として職業に関わること)
 - ア 職業の種類や特徴、職業生活などについて理解させると共に、勤労の意義について学習させる。
 - イ 職業人として必要とされる能力や態度、勤労観・職業観を養う。
 - ウ 聞き取りや調査を通じて、自己の進路選択の在り方を考えさせる。
- ・進路と体験学習(主として郷土や産業に関わること)
 - ア 身近な地域の中での様々な体験学習を通して、郷土の自然や産業について関心を持たせ、体験学習の中で、自己の能力や適性等を伸ばすと共に、将来の進路選択に役立てる学習を行う。

②学習内容

第1学年

- ア 働くことの大切さや意義を学び、自分を育ててもらっている保護者に感謝するとともに、自分自身の将来についても考える機会とする。
- イ 将来なりたい職業や興味のある職業を調べ、発表会で職業の紹介をする。

第2学年

- ア 適性について学習し、自己をより見つけ自己理解を深めることで、自分に適した職業や将来の進路について関心を高める。
- イ 上級学校についての聞き取りや調査を通じて、自己の進路選択への関心を持つ。

第3学年

- ア 飯南高校総合学科の学習体験をはじめとして、各高校の特色を知り、自己の進路選択の力を付ける。
- イ 進路や職業に関する学習を通じて、地域の産業を理解するとともに働くことの意義や将来の社会人としての心構えについて考え、進路設計の力を付ける。

③学年別年間計画

<第1学年(全15時間)>

月	目標	主題名	学習のねらい	指導内容	時数	備考
6	自分を見つめる	・オリエンテーション ・自分について考えよう。	・「人間と社会」の学習のねらいや内容について理解し、意欲的に取り組む目標を持つ	・中学校3年間で「人間と社会」の学習に取り組む意義や目的意識や目標を持つことの大切さ	2	人社ノートP1
11	将来について考えよう	「人間と社会」の学習について	・自分の良い点を見つけ、深く自分を知り、さらに成長していける方法を考える ・自分の将来について考えるきっかけを作り、目標を持つことの大切さを知る	・自分についての関心を持たせる。 ・興味、関心、適性を踏まえ目標を設定する。 ・夢や目標を持つことの大切さを知る。 ・将来の進路を考えるきっかけを持たせる。	2	人社ノートP2～7 人社ノートP8～12
12	職・勤の育成	職業と人生	・働くことの意義について考え、様々な職業があることを知る。 ・進路選択や職業選択には様々な価値観、興味関心、思いがあることを知る。	・職業への関心 ・職業調べの意義や方法 ・いろいろな職業の仕事内容をiPadや書籍を用いて調べる。	2	人社ノートP14～17 ・調べ学習(iPadなど)
1	発表の仕方を考えよう		・伝えたい人に興味関心を持ってもらえるよう新聞の構成を考える。 ・伝える人に分かるような発表の仕方を考える。 ・多くの職業の紹介に触れ、新たな視点もち、将来の夢や職業選択に役立たせる。	・調べた内容を新聞にして発表する。 ・伝える人に分かるような発表の仕方を工夫する。 ・今回の「職業調べ」について振り返り、感じたこと書く。	7	・新聞の作成 ・発表
2	進路発表の仕方を考えよう	出前いいなんゼミ <先輩のプレゼンから学ぶ>	・伝えたい人に興味関心を持ってもらえるような発表の仕方や伝える人に分かるような発表の仕方を学ぶ。	・内容に関心を持ち、テーマの設定方法を学ぶ。 ・「出前いいなんゼミ」の発表を聴き、今後の	2	

			<ul style="list-style-type: none"> ・特に印象に残った人の発表について、その理由を伝え合う。 ・高校の学習内容に興味関心を持ち、進路の参考にする。 	あしやまの活動にいかす。 ・今回の「出前いいなんゼミ」について振り返り、感じたことを書く。		
--	--	--	--	--	--	--

<第2学年(全15時間)>

月	目標	主題名	学習のねらい	指導内容	時数	備考
6	自分を見つめる	「人間と社会」の学習について(オリエンテーション) 自分を知る 進学先と資格・職業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習することの意義を考える ・進路についての学習や進路設計について考える ・自分の適性と適した職業 ・進学先と資格・職業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義の理解 ・学習と自分の進路との関連 について ・自己理解の方法 ・適性と職業 ・進路と職業の関係 	3	人社ノート
1	進路②	県内の上級学校を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、三重県内すべての県立、私立学校の学科などを、keynote にまとめ発表し、新聞にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学科、コースがあることを知る 	6	グループ学習
2	進路 発表の仕方を考えよう	いいなんゼミ (先輩のプレゼンから学ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい人に興味関心を持ってもらえるような発表の仕方や伝える人に分かるような発表の仕方を学ぶ。 ・高校の学習内容に興味関心を持ち、進路の意識につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容に関心を持ち、テーマの設定方法を学ぶ。 ・今後の学習につなげていくことを意識する。 	6	

<第3学年(全35時間)>

月	目標	主題	学習のねらい	指導内容	時数	備考
4	進路	自分を見つめる わたしの人生設計	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路に対する目標を考え、目的意識を持つことの大切さにつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問や知りたいことの明確化 ・目的意識の大切さ ・進路選択の方法 	2	進路希望調査

			いての学習			
5	職・勤の育成	勤労体験活動	コミュニケーション能力、社会的スキルを身に付け、人間関係の大切さを体得する	・働くことの大切さ ・仲間と協力することの大切さ ・コミュニケーションの大切さ ・地域への奉仕	12	
5 6	進路	自分を見つめる わたしの人生設計	・自分の目標に向けての人生設計を考える。	・疑問や知りたいことの明確化 ・目的意識の大切さ ・進路選択の方法	3	進路希望調査
7	進路	進路説明会①	・私立高校5校を招いての説明会	・各高校の特色や情報を知る	2	
8	進路	高校入門講座への参加	・飯南高校をはじめとする高校を訪問し、高校生活を体験する	・各高校の特色、内容について ・体験の方法や内容について ・入門講座のまとめ		高校生活入門講座 人社ノート P38～41
9	進路	進路説明会②	・県立高校6校を招いての説明会	・各高校の特色や情報を知る	2	進路希望調査
11	進路	受検方法について	・前期選抜・連携入試に向けて受検方法 内容を理解する。	・受検(受験)校を選ぶポイント	2	進路希望調査
11	進路	受検方法について	・前期選抜・連携入試に向けて受検方法 内容を理解する。	・受検(受験)校を選ぶポイント	2	進路希望調査
12	進路	進路希望の確認	・受検(受験)する高校(学科)を決定する。	・自分の希望する進路先を決定 ・受検に向けての心構え、注意事項	2	面接・作文指導 連携レポート・発表・面接指導
1	進路	受検(受験)の方法、心構え	・受検(受験)までの準備、落ち着いた生活の大切さを理解する	・日程確認 ・面接の受け方や作文 ・直前の指導	6	面接・作文指導 連携レポート・発表・面接指導
2	自分を見つめる	新しい生活への心構え	・自分の進路に向けての生活態度、心構えを確認し、日頃の生活に生かす。	・高校生活の目標と期待 ・卒業までの学校生活	2	面接・作文指導 連携発表、面接指導

	進路		・受検までの準備、生活の大切さを理解する・合格内定者の、気持ちの在り方や学習継続の意義とともに後期選抜受検者への寄り添い方も考える。		
--	----	--	--	--	--